

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。  
さて、「GS債券戦略ファンド(愛称 ザ・ボンド)」は、このたび、Aコース/Bコースにつきましては、第28期～第33期の決算、Cコース/Dコースにつきましては、第6期の決算を行いました。本ファンドは、日本および新興国を含む世界の債券および通貨等に投資し、市場環境に応じて機動的に資産配分を行うことにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行っております。今期の運用経過等について、以下のとおりご報告申し上げます。  
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

Aコース	第33期末(2016年7月25日)	第28期～第33期	
	基準価額	8,419円	騰落率 0.89%
	純資産総額	4,050百万円	分配金合計 240円
Bコース	第33期末(2016年7月25日)	第28期～第33期	
	基準価額	8,772円	騰落率 -8.87%
	純資産総額	39,716百万円	分配金合計 480円
Cコース	第6期末(2016年7月25日)	第6期	
	基準価額	9,696円	騰落率 0.92%
	純資産総額	1,289百万円	分配金合計 0円
Dコース	第6期末(2016年7月25日)	第6期	
	基準価額	10,683円	騰落率 -8.89%
	純資産総額	5,861百万円	分配金合計 0円

(注)騰落率は収益分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

本ファンドは、約款において運用報告書(全体版)を電子交付することが定められております。運用報告書(全体版)は、下記の手順でご覧いただけます。なお、書面をご要望の場合は、販売会社までお問い合わせください。

〈閲覧方法〉

右記URLにアクセス⇒「ファンドラインナップ」より本ファンドを選択⇒「運用報告書(全体版)」を選択



交付運用報告書

## GS債券戦略ファンド

愛称：ザ・ボンド

Aコース(毎月決算型、為替ヘッジあり)  
Bコース(毎月決算型、為替ヘッジなし)  
Cコース(年2回決算型、為替ヘッジあり)  
Dコース(年2回決算型、為替ヘッジなし)  
追加型投信／内外／債券

Aコース/Bコース 第28期(決算日2016年2月23日)  
第29期(決算日2016年3月23日)  
第30期(決算日2016年4月25日)  
第31期(決算日2016年5月23日)  
第32期(決算日2016年6月23日)  
第33期(決算日2016年7月25日)

Cコース/Dコース 第6期(決算日2016年7月25日)

作成対象期間：2016年1月26日～2016年7月25日

ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント

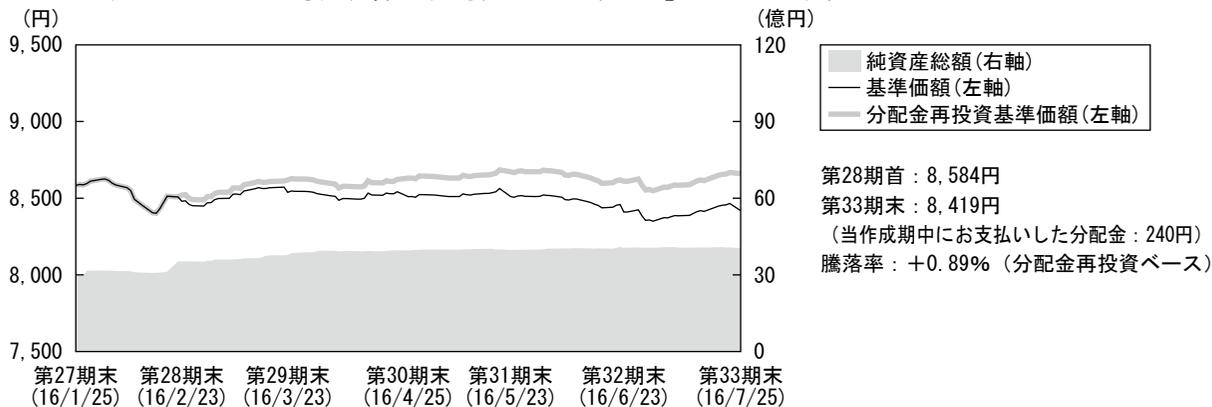
〒106-6147 東京都港区六本木6-10-1 六本木ヒルズ森タワー  
お問合せ先：03-6437-6000(代表)  
受付時間：営業日の午前9時～午後5時 | [www.gsam.co.jp](http://www.gsam.co.jp)

## 運用経過

■ 基準価額等の推移について（2016年1月26日～2016年7月25日）

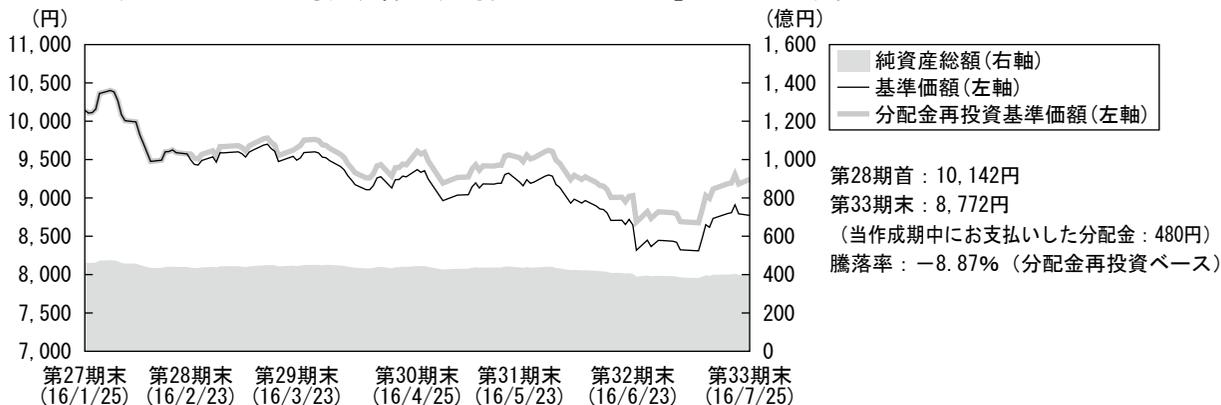
○GS債券戦略ファンドAコース（毎月決算型、為替ヘッジあり）

（以下、「Aコース（毎月決算型、為替ヘッジあり）」といいます。）



○GS債券戦略ファンドBコース（毎月決算型、為替ヘッジなし）

（以下、「Bコース（毎月決算型、為替ヘッジなし）」といいます。）



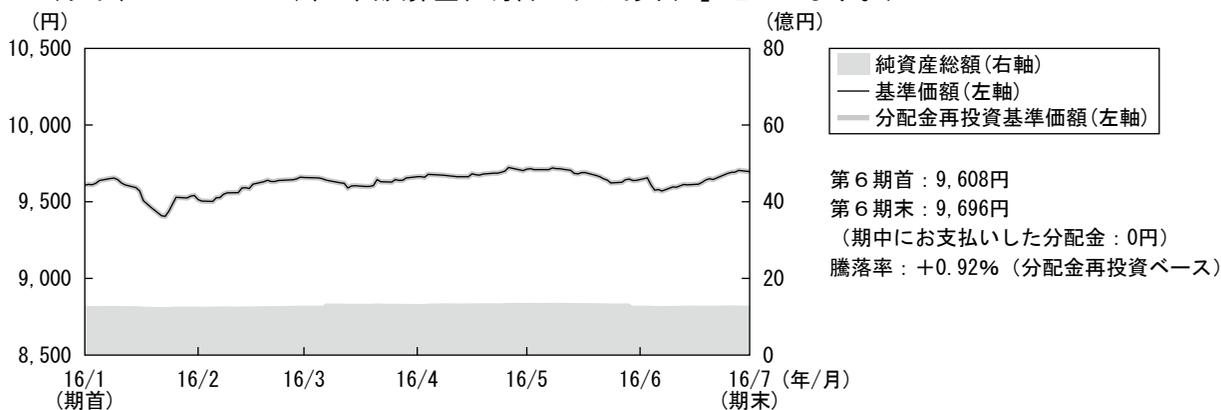
(注1) Aコース（毎月決算型、為替ヘッジあり）およびBコース（毎月決算型、為替ヘッジなし）の値動きと比較する適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定していません（以下同じ）。

(注2) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

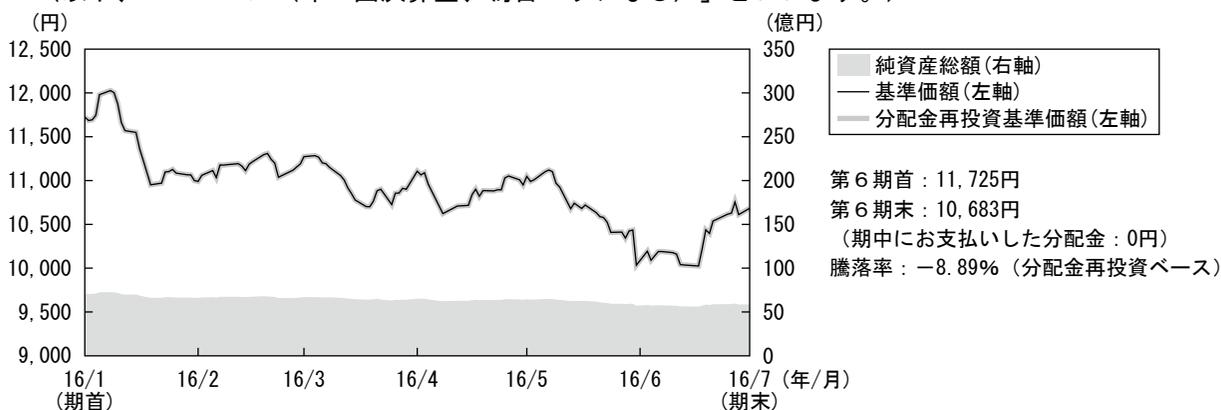
(注3) 実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なるため、お客さまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

(注4) 分配金再投資基準価額は、当作成期（以下、「当期」といいます。）の期首の基準価額を起点として指数化しています。

OGS債券戦略ファンドCコース（年2回決算型、為替ヘッジあり）  
（以下、「Cコース（年2回決算型、為替ヘッジあり）」といいます。）



OGS債券戦略ファンドDコース（年2回決算型、為替ヘッジなし）  
（以下、「Dコース（年2回決算型、為替ヘッジなし）」といいます。）



- (注1) Cコース（年2回決算型、為替ヘッジあり）およびDコース（年2回決算型、為替ヘッジなし）の値動きと比較する適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定していません（以下同じ）。
- (注2) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注3) 実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なるため、お客さまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。
- (注4) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額を起点として指数化しています。

**■ 基準価額の主な変動要因**

- Aコース（毎月決算型、為替ヘッジあり）の基準価額は、期首の8,584円から165円下落し、期末には8,419円となりました。
  - Bコース（毎月決算型、為替ヘッジなし）の基準価額は、期首の10,142円から1,370円下落し、期末には8,772円となりました。
  - Cコース（年2回決算型、為替ヘッジあり）の基準価額は、期首の9,608円から88円上昇し、期末には9,696円となりました。
  - Dコース（年2回決算型、為替ヘッジなし）の基準価額は、期首の11,725円から1,042円下落し、期末には10,683円となりました。
- （以下、4ファンドを総称して本ファンドといたします。）

上昇要因

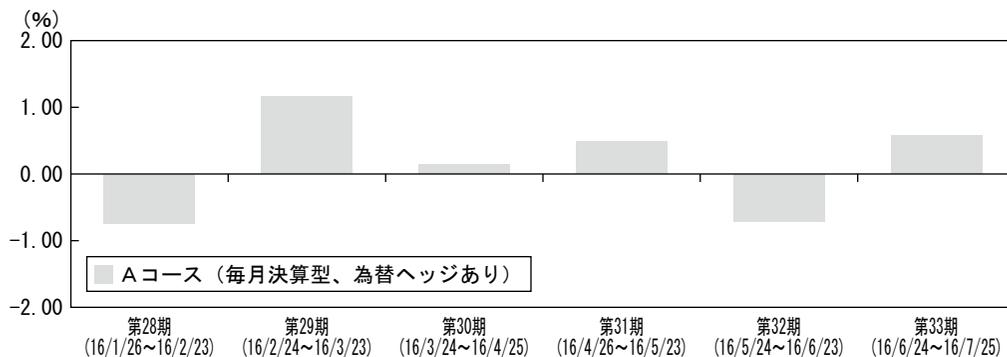
セクター配分戦略や現地通貨建てエマージング債券の個別銘柄選択がプラス寄与となったことなどが基準価額の上昇要因となりました。

下落要因

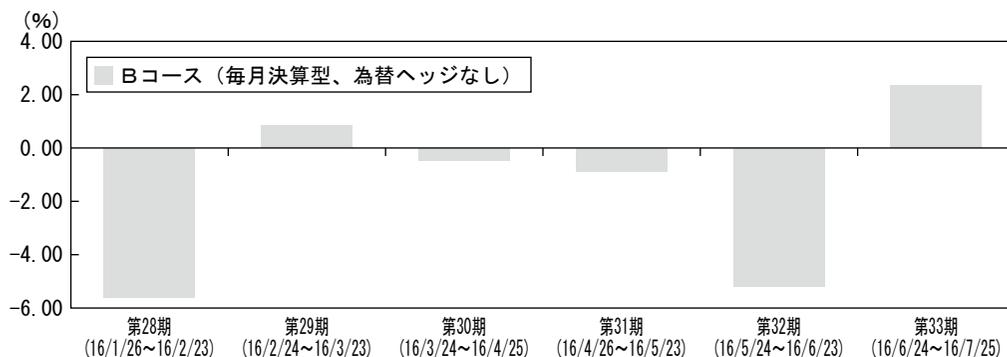
国別配分戦略やデュレーション戦略がマイナス寄与となったことなどが基準価額の下落要因となりました。また、Bコース（毎月決算型、為替ヘッジなし）、Dコース（年2回決算型、為替ヘッジなし）においては、米ドルが対円で下落したことも基準価額の下落要因となりました。Aコース（毎月決算型、為替ヘッジあり）、Bコース（毎月決算型、為替ヘッジなし）においては分配金をお支払いしたことも基準価額の下落要因となりました。

## ■ 当期の基準価額の騰落率

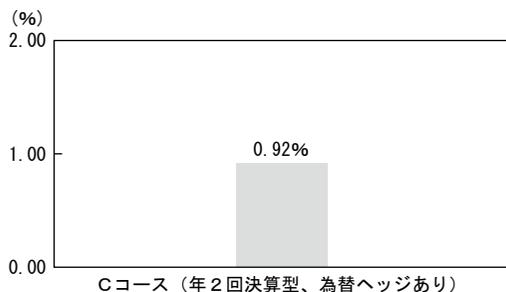
○Aコース（毎月決算型、為替ヘッジあり）



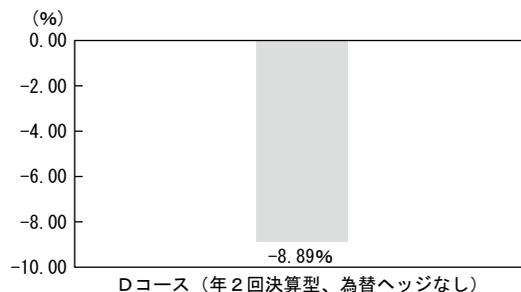
○Bコース（毎月決算型、為替ヘッジなし）



○Cコース（年2回決算型、為替ヘッジあり）



○Dコース（年2回決算型、為替ヘッジなし）



(注) 各コースの基準価額の騰落率は収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

当期のパフォーマンス（分配金再投資ベース）は、Aコース（毎月決算型、為替ヘッジあり）は+0.89%、Bコース（毎月決算型、為替ヘッジなし）は-8.87%、Cコース（年2回決算型、為替ヘッジあり）は+0.92%、Dコース（年2回決算型、為替ヘッジなし）は-8.89%となりました。

### ■ 組入れファンドの当期中の騰落率（分配金再投資）

ファンド名	騰落率 (米ドルベース)	騰落率 (円換算ベース)
ゴールドマン・サックス・グローバル・ストラテジック・インカム・ボンド・ポートフォリオ* <sup>1</sup>	2.30%	-8.16%
ゴールドマン・サックスUS\$リキッド・リザーブズ・ファンド* <sup>2</sup>	0.20%	-10.04%

(注) 純資産価格の騰落率は収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

正式名称はそれぞれ以下の通りです。

- \* 1 ルクセンブルク籍外国投資証券（米ドル建て）ゴールドマン・サックス・ファンズ S. I. C. A. V. - ゴールドマン・サックス・グローバル・ストラテジック・インカム・ボンド・ポートフォリオ
- \* 2 アイルランド籍外国投資証券（米ドル建て）ゴールドマン・サックス・ファンズ・ビーエルシー - ゴールドマン・サックスUS\$リキッド・リザーブズ・ファンド

## ■ 1万口当たりの費用明細

### ○Aコース（毎月決算型、為替ヘッジあり）

項目	第28期～第33期		項目の概要
	2016年1月26日～2016年7月25日		
	金額	比率	
信託報酬 (投信会社)	70円 (34)	0.819% (0.403)	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ファンドの運用、受託会社への指図、基準価額の算出、目論見書・運用報告書等の作成等の対価 購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、分配金・換金代金・償還金の支払い業務等の対価 ファンドの財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(販売会社)	(34)	(0.403)	
(受託会社)	(1)	(0.013)	
その他費用 (保管費用)	1 (0)	0.009 (0.000)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 海外資産等の海外保管銀行等に支払う保管・送金・受渡に係る費用 監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 法律顧問・税務顧問への報酬、印刷費用、郵送費用、公告費用、格付費用、証拠金利息の調整金額、支払外国税等
(監査費用)	(0)	(0.003)	
(その他)	(1)	(0.006)	
合計	71	0.828	
期中の平均基準価額は8,497円です。			

### ○Bコース（毎月決算型、為替ヘッジなし）

項目	第28期～第33期		項目の概要
	2016年1月26日～2016年7月25日		
	金額	比率	
信託報酬 (投信会社)	77円 (38)	0.819% (0.403)	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ファンドの運用、受託会社への指図、基準価額の算出、目論見書・運用報告書等の作成等の対価 購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、分配金・換金代金・償還金の支払い業務等の対価 ファンドの財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(販売会社)	(38)	(0.403)	
(受託会社)	(1)	(0.013)	
その他費用 (保管費用)	1 (0)	0.008 (0.000)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 海外資産等の海外保管銀行等に支払う保管・送金・受渡に係る費用 監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 法律顧問・税務顧問への報酬、印刷費用、郵送費用、公告費用、格付費用、証拠金利息の調整金額、支払外国税等
(監査費用)	(0)	(0.002)	
(その他)	(1)	(0.006)	
合計	78	0.827	
期中の平均基準価額は9,402円です。			

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。但し、各項目の費用は、本ファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

## ○Cコース（年2回決算型、為替ヘッジあり）

項目	当期		項目の概要
	2016年1月26日～2016年7月25日		
	金額	比率	
信託報酬 （投信会社）	79円 (39)	0.819% (0.403)	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ファンドの運用、受託会社への指図、基準価額の算出、目論見書・運用報告書等の作成等の対価 購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、分配金・換金代金・償還金の支払い業務等の対価 ファンドの財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
（販売会社）	(39)	(0.403)	
（受託会社）	(1)	(0.013)	
その他費用 （保管費用） （監査費用） （その他）	1 (0) (1) (1)	0.015 (0.001) (0.007) (0.007)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 海外資産等の海外保管銀行等に支払う保管・送金・受渡に係る費用 監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 法律顧問・税務顧問への報酬、印刷費用、郵送費用、公告費用、格付費用、証拠金利息の調整金額、支払外国税等
合計	80	0.834	
期中の平均基準価額は9,624円です。			

## ○Dコース（年2回決算型、為替ヘッジなし）

項目	当期		項目の概要
	2016年1月26日～2016年7月25日		
	金額	比率	
信託報酬 （投信会社）	91円 (45)	0.819% (0.403)	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ファンドの運用、受託会社への指図、基準価額の算出、目論見書・運用報告書等の作成等の対価 購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、分配金・換金代金・償還金の支払い業務等の対価 ファンドの財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
（販売会社）	(45)	(0.403)	
（受託会社）	(1)	(0.013)	
その他費用 （保管費用） （監査費用） （その他）	1 (0) (0) (1)	0.007 (0.000) (0.001) (0.005)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 海外資産等の海外保管銀行等に支払う保管・送金・受渡に係る費用 監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 法律顧問・税務顧問への報酬、印刷費用、郵送費用、公告費用、格付費用、証拠金利息の調整金額、支払外国税等
合計	92	0.826	
期中の平均基準価額は11,092円です。			

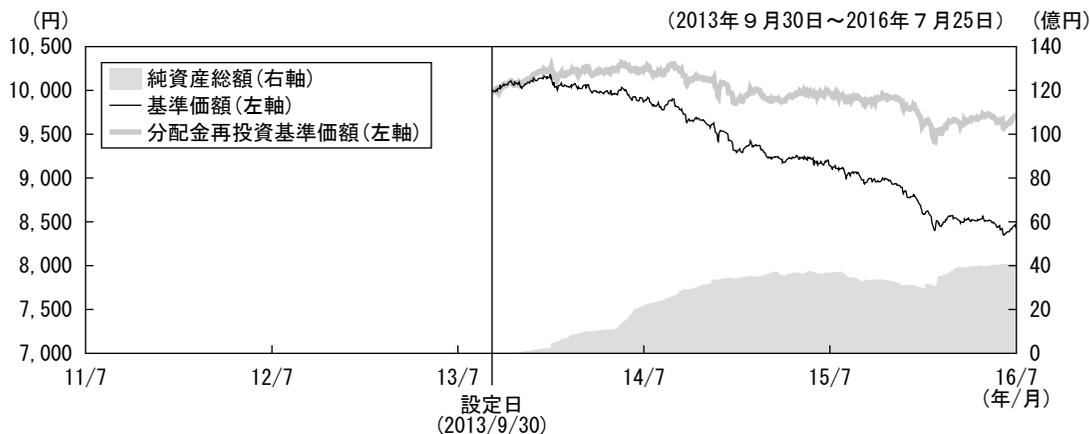
(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。但し、各項目の費用は、本ファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

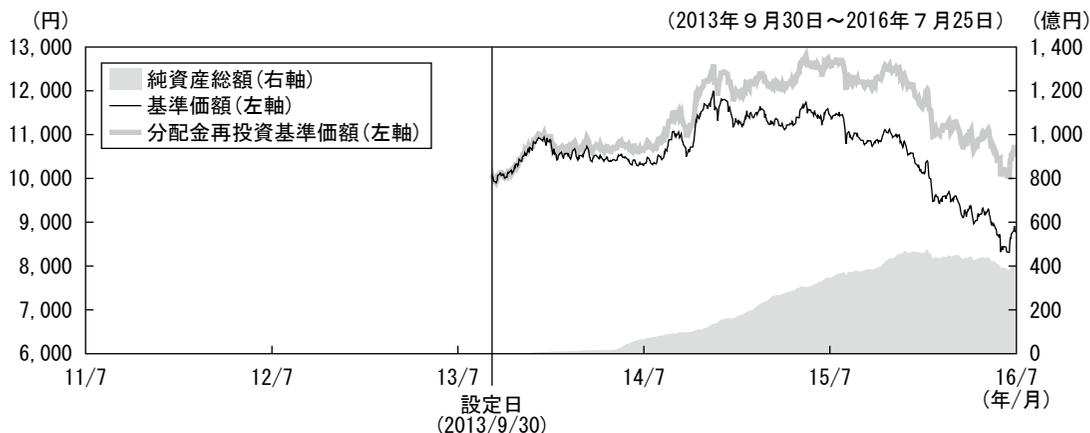
(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

## 最近5年間の基準価額等の推移について

### ○Aコース（毎月決算型、為替ヘッジあり）



### ○Bコース（毎月決算型、為替ヘッジなし）

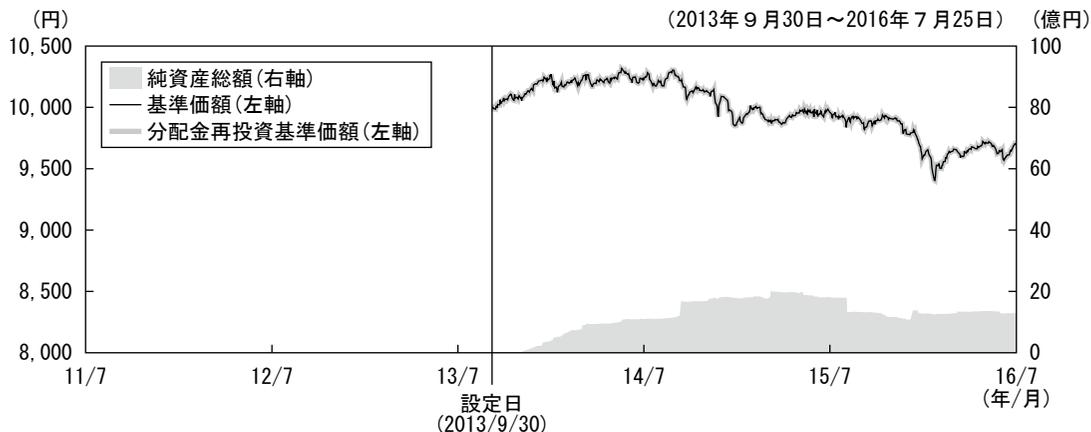


(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

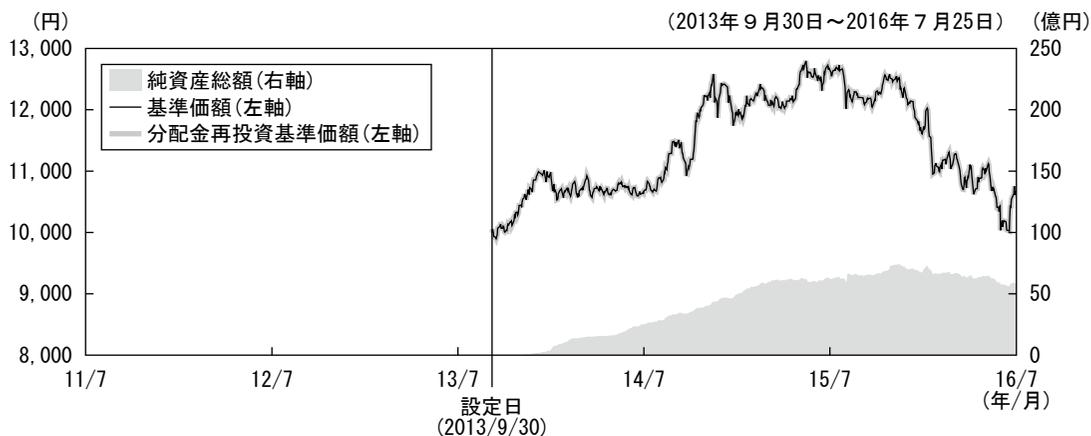
(注2) 実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なるため、お客さまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

(注3) 分配金再投資基準価額は、設定日（2013年9月30日）の基準価額を起点として指数化しています。

## ○Cコース（年2回決算型、為替ヘッジあり）



## ○Dコース（年2回決算型、為替ヘッジなし）



(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なるため、お客さまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

(注3) 分配金再投資基準価額は、設定日（2013年9月30日）の基準価額を起点として指数化しています。

■ 最近5年間の年間騰落率

○Aコース（毎月決算型、為替ヘッジあり）

	2013/9/30 設定日	2014/7/23 決算日	2015/7/23 決算日	2016/7/25 決算日
基準価額（分配落）（円）	10,000	9,879	9,153	8,419
期間分配金合計（税引前）（円）	—	360	480	480
分配金再投資基準価額騰落率	—	2.40%	-2.51%	-2.80%
純資産総額（百万円）	10	2,162	3,672	4,050

○Bコース（毎月決算型、為替ヘッジなし）

	2013/9/30 設定日	2014/7/23 決算日	2015/7/23 決算日	2016/7/25 決算日
基準価額（分配落）（円）	10,000	10,306	11,471	8,772
期間分配金合計（税引前）（円）	—	360	760	960
分配金再投資基準価額騰落率	—	6.64%	19.03%	-15.76%
純資産総額（百万円）	10	6,631	34,688	39,716

○Cコース（年2回決算型、為替ヘッジあり）

	2013/9/30 設定日	2014/7/23 決算日	2015/7/23 決算日	2016/7/25 決算日
基準価額（分配落）（円）	10,000	10,237	9,972	9,696
期間分配金合計（税引前）（円）	—	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率	—	2.37%	-2.59%	-2.77%
純資産総額（百万円）	10	1,099	1,813	1,289

○Dコース（年2回決算型、為替ヘッジなし）

	2013/9/30 設定日	2014/7/23 決算日	2015/7/23 決算日	2016/7/25 決算日
基準価額（分配落）（円）	10,000	10,652	12,681	10,683
期間分配金合計（税引前）（円）	—	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率	—	6.52%	19.05%	-15.76%
純資産総額（百万円）	10	2,506	6,328	5,861

## ■ 投資環境について

### <海外債券市場>

当期は、主要先進国の10年国債利回りは低下（価格は上昇）しました。

米国では、期初は、原油価格の下落、欧州銀行の信用不安、中国や米国経済の低迷などを背景に世界経済の先行き懸念が高まり、利回りは低下しました。その後は概ねレンジ内での推移となりましたが、期の終盤は、英国のEU（欧州連合）離脱が世界経済に及ぼす影響が懸念され、利回りは低下しました。期末にかけて、先進国による金融緩和期待や米国の利上げ観測の後退などから投資家のリスク回避姿勢が弱まり、利回りは上昇しましたが、期を通じては低下する結果となりました。ユーロ圏では、期初から2月下旬にかけては、世界的な景気減速懸念の高まりやECB（欧州中央銀行）による追加金融緩和期待、欧州委員会による経済成長およびインフレ見通しの下方修正などを背景に利回りは低下しました。期の中盤は、一進一退の推移となりましたが、6月以降、英国のEU離脱決定や欧州銀行の信用不安の再燃などを背景に欧州の政治、経済への懸念が高まり、利回りは低下し、結局期を通じて利回りは低下する結果となりました。

### <外国為替市場>

外国為替市場では、米ドル、ユーロなどに対して円高が進みました。

米ドルは、世界的な株式市場の下落や英国のEU離脱決定などを受けて、投資家のリスク回避姿勢が強まった局面で安全資産とされる円の需要が高まったほか、期の中盤以降、日銀が追加緩和を見送ったことや米国の利上げ観測が後退したことなどから、期を通じて対円で概ね下落基調となりました。ユーロは、米ドル同様、安全資産とされる円の需要が高まったことや、ECBによる追加緩和期待などを背景に、期を通じて対円で概ね下落基調となりました。

### <短期金融市場>

当期において、1ヵ月物米ドルLIBOR（ロンドン銀行間取引金利）は前期末の0.43%程度から0.49%程度まで上昇して期末を迎えました。

## ■ ポートフォリオについて

### <本ファンド>

本ファンドは期を通じて、ゴールドマン・サックス・グローバル・ストラテジック・インカム・ボンド・ポートフォリオおよびゴールドマン・サックスUS\$リキッド・リザーブズ・ファンドを主要投資対象とし、当期を通じてゴールドマン・サックス・グローバル・ストラテジック・インカム・ボンド・ポートフォリオを高位に組入れることにより、主に日本および新興国を含む世界の債券および通貨等に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行いました。また、Aコース（毎月決算型、為替ヘッジあり）およびCコース（年2回決算型、為替ヘッジあり）は、外貨建て資産に対して為替ヘッジを行い、為替リスクの低減をめざしました。

### <ゴールドマン・サックス・グローバル・ストラテジック・インカム・ボンド・ポートフォリオ>

期首における主要なポジションは、デュレーション戦略における米国の金利デュレーションの短期化ポジションやユーロ圏の長期化ポジション、セクター配分戦略における社債を選好するポジション、国別配分戦略におけるオーストラリアのオーバーウェイトに対する米国や英国のアンダーウェイトなどとなりました。また、通貨配分戦略では、米ドルに対して強気のポジションとする一方、ユーロ、日本円、中国・人民元などに対して弱気のポジションとしました。

期末における主要なポジションは、デュレーション戦略における米国や日本の金利デュレーションの短期化ポジション、セクター配分戦略における社債を小幅アンダーウェイトとするポジション、国別配分戦略におけるユーロ圏、カナダ、オーストラリアのオーバーウェイトに対する米国や日本のアンダーウェイトなどとしています。また、通貨配分戦略では、米ドルに対して強気のポジションとする一方、ユーロ、英ポンド、中国・人民元などに対して弱気のポジションとしています。

当期においては、セクター配分戦略や個別銘柄選択のプラス寄与が大きくなった一方、国別配分戦略やデュレーション戦略などがマイナス寄与となりました。セクター配分戦略においては、CLO（ローン担保証券）やエマージング債券のオーバーウェイトなどがプラス寄与となりました。個別銘柄選択においては、エマージング債券における現地通貨建てブラジル国債の銘柄選択や、国債／金利スワップにおける米国のインフレ連動債の銘柄選択などが奏功しました。一方、国別配分戦略においては、カナダのオーバーウェイトに対する米国のアンダーウェイトや、米国のオーバーウェイトに対する日本のアンダーウェイトなどがマイナス寄与となりました。また、デュレーション戦略における米国の金利デュレーションの短期化ポジションもマイナス寄与となりました。

### <ゴールドマン・サックスUS\$リキッド・リザーブズ・ファンド>

主として米ドル建ての短期金融市場証券に分散投資することにより、元本と流動性を確保しつつ、米ドルベースでの最大限の収益を得ることを目標として運用を行いました。

## ■ ベンチマークとの差異について

本ファンドの値動きと比較する適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定していません。

## ■ 分配金について

収益分配金（1万口当たり、税引前）については、分配方針および基準価額の水準などを勘案し、Aコース（毎月決算型、為替ヘッジあり）は、第28期から第33期は各40円としました。Bコース（毎月決算型、為替ヘッジなし）は、第28期から第33期は各80円としました。また、Cコース（年2回決算型、為替ヘッジあり）およびDコース（年2回決算型、為替ヘッジなし）は第6期の分配は行わないこととしました。収益分配金に充てなかった収益については、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用を行います。

### <分配原資の内訳>

#### ○Aコース（毎月決算型、為替ヘッジあり）

（単位：円・％、1万口当たり・税引前）

項目	第28期	第29期	第30期	第31期	第32期	第33期
	2016年1月26日 ～2016年2月23日	2016年2月24日 ～2016年3月23日	2016年3月24日 ～2016年4月25日	2016年4月26日 ～2016年5月23日	2016年5月24日 ～2016年6月23日	2016年6月24日 ～2016年7月25日
当期分配金	40	40	40	40	40	40
（対基準価額比率）	0.469	0.466	0.468	0.468	0.473	0.473
当期の収益	40	40	40	40	40	40
当期の収益以外	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	671	708	740	777	807	843

#### ○Bコース（毎月決算型、為替ヘッジなし）

（単位：円・％、1万口当たり・税引前）

項目	第28期	第29期	第30期	第31期	第32期	第33期
	2016年1月26日 ～2016年2月23日	2016年2月24日 ～2016年3月23日	2016年3月24日 ～2016年4月25日	2016年4月26日 ～2016年5月23日	2016年5月24日 ～2016年6月23日	2016年6月24日 ～2016年7月25日
当期分配金	80	80	80	80	80	80
（対基準価額比率）	0.836	0.836	0.847	0.861	0.917	0.904
当期の収益	80	80	80	80	76	80
当期の収益以外	—	—	—	—	3	—
翌期繰越分配対象額	1,987	1,991	1,992	1,996	1,992	1,998

## OCコース（年2回決算型、為替ヘッジあり）

（単位：円・％、1万口当たり・税引前）

項目	第6期
	2016年1月26日～2016年7月25日
当期分配金	—
（対基準価額比率）	—
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	2,294

## ODコース（年2回決算型、為替ヘッジなし）

（単位：円・％、1万口当たり・税引前）

項目	第6期
	2016年1月26日～2016年7月25日
当期分配金	—
（対基準価額比率）	—
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	3,222

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税引前）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

## 今後の運用方針について

### <本ファンド>

今後も引き続きゴールドマン・サックス・グローバル・ストラテジック・インカム・ボンド・ポートフォリオの組入れを高位に保つことによって、主に日本および新興国を含む世界の債券および通貨等に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。また、Aコース（毎月決算型、為替ヘッジあり）およびCコース（年2回決算型、為替ヘッジあり）は、外貨建て資産に対して為替ヘッジを行い、為替リスクの低減をめざします。

### <ゴールドマン・サックス・グローバル・ストラテジック・インカム・ボンド・ポートフォリオ>

当社の投資戦略に関して、デュレーション戦略においては、米国の金利デュレーションの短期化について、英国の国民投票でEU離脱派が勝利したことを受けて、世界経済の見通しに対する先行き不透明感などを背景にポジションを一旦解消しましたが、その後、金融環境が緩和したことや、バリュエーション面での魅力などを背景に再び短期化ポジションを構築しています。

先進国間では、ユーロ圏、カナダ、オーストラリアの金利デュレーションのオーバーウェイトに対して、米国の金利デュレーションをアンダーウェイトとしています。英国については短期セクターは、ユーロ圏に対してオーバーウェイトとしている一方で、長期セクターは、ユーロ圏に対してアンダーウェイトとしています。英国の短期セクターについて、国民投票の結果から同国の経済見通しは悪化しており、英中銀が利下げを実施する可能性が高まっていると考える一方、長期セクターについては国民投票後のイールドカーブのフラット化（長短金利差の縮小）は行き過ぎであり再び金利上昇圧力がかかると見えています。

セクター配分戦略について、社債セクターについてオーバーウェイトを維持してきましたが、英国国民投票の結果を受けて、世界経済の先行き不透明感が高まったとの見方から、足元では同セクターに対して小幅アンダーウェイトとしています。

上記の見通しおよび運用の基本方針に基づいて運用を行います。

### <ゴールドマン・サックスUS\$リキッド・リザーブズ・ファンド>

今後も主として米ドル建ての短期金融市場証券に分散投資することにより、元本と流動性を確保しつつ、米ドルベースでの最大限の収益を得ることを目標として運用を行います。

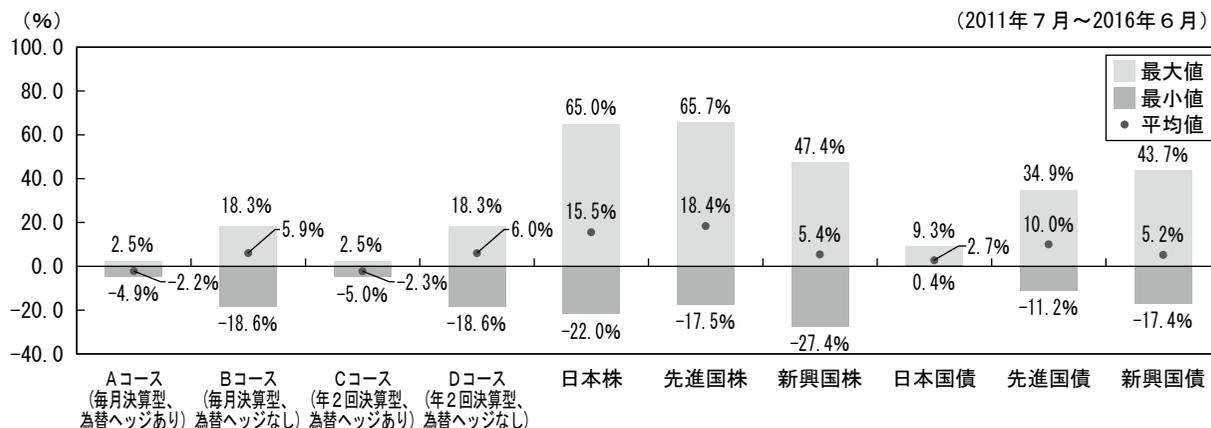
（上記見通しは2016年7月25日現在のものであり、今後見通しは変更されることもあります。）

## 本ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／債券
信託期間	2024年1月23日まで
運用方針	日本および新興国を含む世界の、政府および政府機関が発行する債券、社債、モーゲージ証券、アセットバック証券および通貨等を主要投資対象とする投資信託証券に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。
主要投資対象	
本ファンド	以下の指定投資信託証券を主要投資対象とします。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ルクセンブルク籍外国投資証券            ゴールドマン・サックス・ファンズ S. I. C. A. V.            ①ゴールドマン・サックス・グローバル・ストラテジック・インカム・ボンド・ポートフォリオ</li> <li>・アイルランド籍外国投資証券            ゴールドマン・サックス・ファンズ・ピーエルシー            ②ゴールドマン・サックスUS\$リキッド・リザーブズ・ファンド</li> </ul>
指定投資信託証券①	日本および新興国を含む世界の、国債、政府系機関債、国際機関債、社債、エマージング市場債券、モーゲージ証券、アセットバック証券および通貨等
指定投資信託証券②	主に米ドル建ての短期の市場性を有する金融市場証券
運用方法・組入制限	①投資信託証券への投資は、高位に維持することを基本とします。 ②外貨建資産については、Aコース・Cコースでは、原則として対円での為替ヘッジを行い、Bコース・Dコースでは、原則として対円での為替ヘッジを行いません。 ③株式への直接投資は行いません。
分配方針	原則として毎計算期末（Aコース・Bコースは毎月23日、Cコース・Dコースは毎年1月23日および7月23日。休業日の場合は翌営業日。）に収益の分配を行います。投信会社が経費控除後の利子・配当等収益および売買損益（評価損益を含みます。）等の中から基準価額水準、市場動向等を勘案して分配金を決定します。

## (参考情報)

## ■ 本ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



○上記は、2011年7月から2016年6月の5年間における1年騰落率の平均値・最大値・最小値を、本ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。ただし、本ファンドの1年騰落率は、各月末の直近1年間の騰落率であるため、設定日(2013年9月30日)から1年後の2014年9月以降のデータを表示しています。

## ○各資産クラスの指数

日本株：東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株：MSCI コクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円換算ベース)

日本国債：NOMURA-BPI 国債

先進国債：シティ世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド (円ベース)

- ・海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースまたは円換算ベースの指数を採用しております。
- ・全ての資産クラスが本ファンドの投資対象とは限りません。
- ・本ファンドの騰落率は収益分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。
- ・騰落率は当期末の直近月末から60ヵ月遡った算出結果であり、本ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

## 本ファンドのデータ

■ 本ファンドの組入資産の内容（2016年7月25日現在）

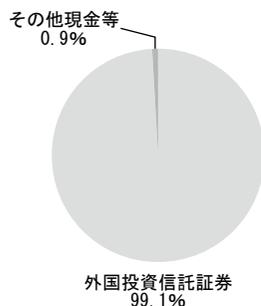
< Aコース（毎月決算型、為替ヘッジあり） >

○組入れファンド

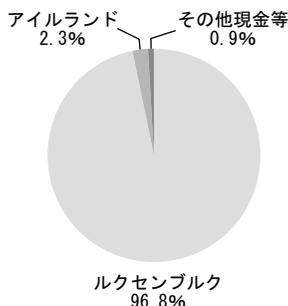
（組入銘柄数：2銘柄）

ファンド名	比率
ゴールドマン・サックス・グローバル・ストラテジック・インカム・ボンド・ポートフォリオ	96.8%
ゴールドマン・サックスUS\$リキッド・リザーブズ・ファンド	2.3%

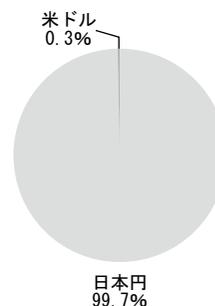
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



（注）上記の比率は全てAコース（毎月決算型、為替ヘッジあり）の純資産総額に対する割合です。

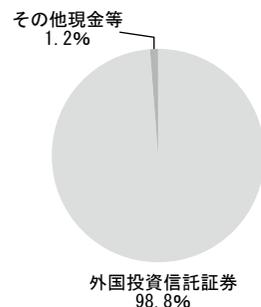
< Bコース（毎月決算型、為替ヘッジなし） >

○組入れファンド

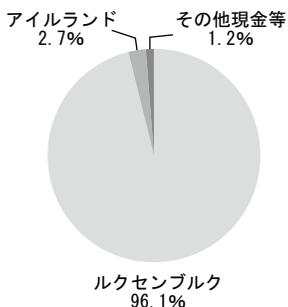
（組入銘柄数：2銘柄）

ファンド名	比率
ゴールドマン・サックス・グローバル・ストラテジック・インカム・ボンド・ポートフォリオ	96.1%
ゴールドマン・サックスUS\$リキッド・リザーブズ・ファンド	2.7%

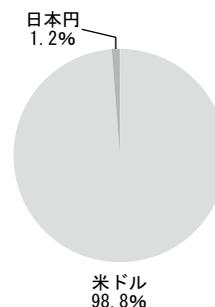
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



（注）上記の比率は全てBコース（毎月決算型、為替ヘッジなし）の純資産総額に対する割合です。

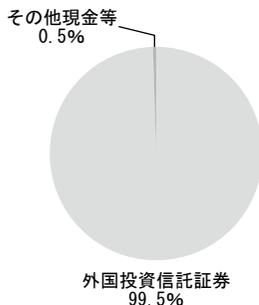
## &lt;Cコース（年2回決算型、為替ヘッジあり）&gt;

## ○組入れファンド

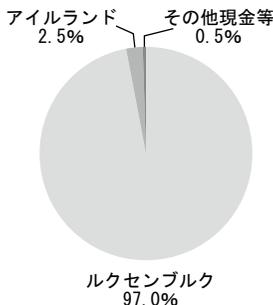
（組入銘柄数：2銘柄）

ファンド名	比率
ゴールドマン・サックス・グローバル・ストラテジック・インカム・ボンド・ポートフォリオ	97.0%
ゴールドマン・サックスUS\$リキッド・リザーブズ・ファンド	2.5%

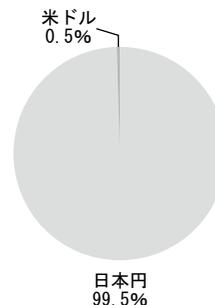
## ○資産別配分



## ○国別配分



## ○通貨別配分



（注）上記の比率は全てCコース（年2回決算型、為替ヘッジあり）の純資産総額に対する割合です。

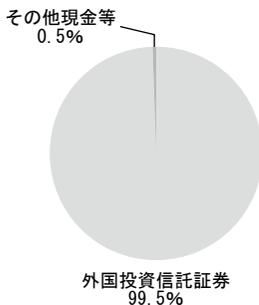
## &lt;Dコース（年2回決算型、為替ヘッジなし）&gt;

## ○組入れファンド

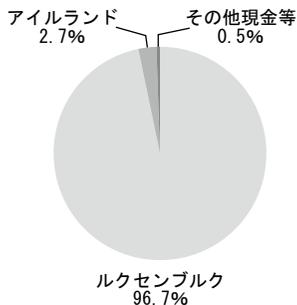
（組入銘柄数：2銘柄）

ファンド名	比率
ゴールドマン・サックス・グローバル・ストラテジック・インカム・ボンド・ポートフォリオ	96.7%
ゴールドマン・サックスUS\$リキッド・リザーブズ・ファンド	2.7%

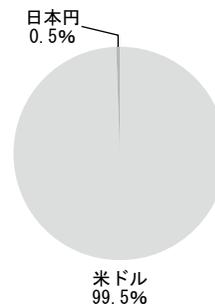
## ○資産別配分



## ○国別配分



## ○通貨別配分



（注）上記の比率は全てDコース（年2回決算型、為替ヘッジなし）の純資産総額に対する割合です。

## ■ 純資産等

### ○Aコース（毎月決算型、為替ヘッジあり）

項目	第28期末	第29期末	第30期末	第31期末	第32期末	第33期末
	2016年2月23日	2016年3月23日	2016年4月25日	2016年5月23日	2016年6月23日	2016年7月25日
純資産総額	3,524,312,191円	3,775,647,248円	3,950,242,177円	3,973,195,238円	4,059,974,818円	4,050,057,419円
受益権総口数	4,155,828,146口	4,422,255,830口	4,641,805,316口	4,668,558,638口	4,827,659,969口	4,810,617,423口
1万口当たり基準価額	8,480円	8,538円	8,510円	8,511円	8,410円	8,419円

(注) 当作成期首元本額は3,446,411,094円、当作成期間（第28期～第33期）中において、追加設定元本額は1,814,827,057円、同解約元本額は450,620,728円です。

### ○Bコース（毎月決算型、為替ヘッジなし）

項目	第28期末	第29期末	第30期末	第31期末	第32期末	第33期末
	2016年2月23日	2016年3月23日	2016年4月25日	2016年5月23日	2016年6月23日	2016年7月25日
純資産総額	43,602,965,310円	44,458,674,112円	44,454,584,017円	43,738,028,446円	40,467,647,530円	39,716,918,545円
受益権総口数	45,934,112,551口	46,835,704,978口	47,448,781,982口	47,506,843,517口	46,794,184,719口	45,279,004,092口
1万口当たり基準価額	9,493円	9,492円	9,369円	9,207円	8,648円	8,772円

(注) 当作成期首元本額は45,487,582,102円、当作成期間（第28期～第33期）中において、追加設定元本額は6,576,881,726円、同解約元本額は6,785,459,736円です。

### ○Cコース（年2回決算型、為替ヘッジあり）

項目	第6期末
	2016年7月25日
純資産総額	1,289,674,298円
受益権総口数	1,330,052,255口
1万口当たり基準価額	9,696円

(注) 期首元本額は1,330,379,760円、当作成期間中において、追加設定元本額は136,061,630円、同解約元本額は136,389,135円です。

### ○Dコース（年2回決算型、為替ヘッジなし）

項目	第6期末
	2016年7月25日
純資産総額	5,861,708,040円
受益権総口数	5,487,006,853口
1万口当たり基準価額	10,683円

(注) 期首元本額は6,014,342,099円、当作成期間中において、追加設定元本額は335,824,870円、同解約元本額は863,160,116円です。

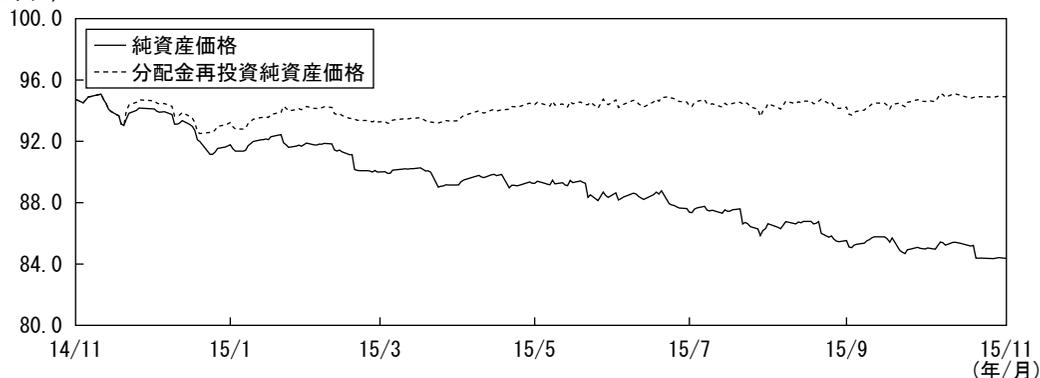
## ■ 組入上位ファンドの概要

<ゴールドマン・サックス・グローバル・ストラテジック・インカム・ボンド・ポートフォリオ> (2015年11月30日現在)

\*組入れファンドの決算は、年1回(毎年11月末)です。したがって、本報告書作成時点で入手可能な2015年11月30日時点までの状況をご報告申し上げます。

## ○純資産価格等の推移について (2014年12月1日～2015年11月30日)

(米ドル)



(注1) 分配金再投資純資産価格は、収益分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金再投資純資産価格は、2014年11月28日の純資産価格を起点として指数化しています。

## ○費用明細 (単位：米ドル)

費用	
当座借越支払利息	1,737
投資顧問報酬	53,597,672
保管費用	1,010,300
管理事務代行報酬	852,266
販売報酬およびサービシング報酬	2,032,222
名義書換事務代行報酬	431,952
年次税	1,888,193
監査報酬	21,411
管理会社報酬	1,638,447
取締役報酬	60,350
弁護士報酬	116,253
保険費用	91,811
印刷費用	162,066
出版費用	9,858
税務報告報酬	91,282
支払代理人報酬	16,638
規制報告報酬	30,081
その他費用	470,894
	<hr/>
	62,523,433
固定報酬のクラスにかかる追加投資顧問報酬	2,982,808
費用合計	<hr/>
	65,506,241

(注1) 費用明細は本報告書作成時点で入手可能な組入れファンドの2014年12月1日から2015年11月30日までのものです。

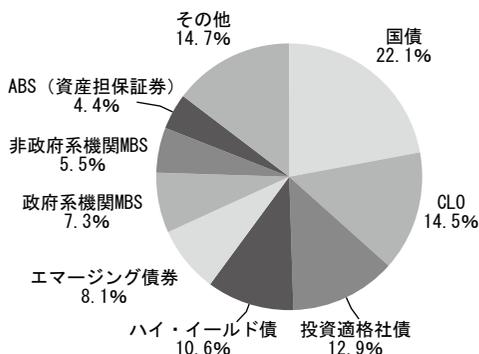
(注2) 費用明細は1万口当たりの情報の入手が困難であるため、当外国投資信託証券の全てのクラスにかかった金額を表示しております。

## ○債券特性値

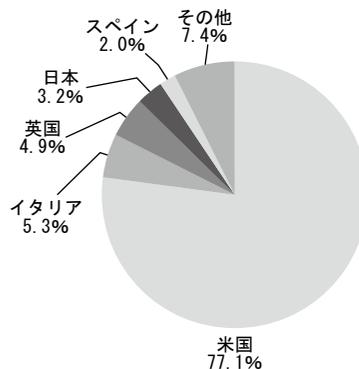
最終利回り : 3.05%

デュレーション : 0.78年

## ○資産別配分



## ○国別配分

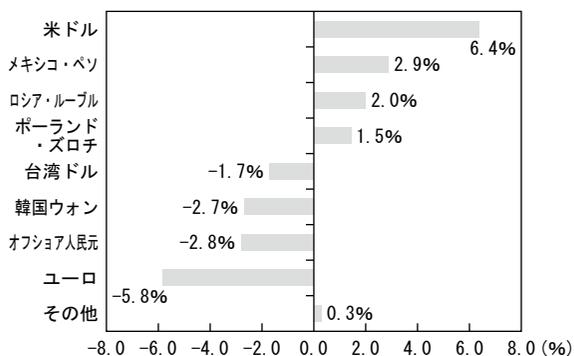


(注) CLO=金融機関が複数の事業会社などに貸し出したローン債権を担保として発行される証券

MBS=住宅ローン等の債権を担保として発行される証券

ABS=自動車ローンやクレジットカードなどのローン債権を担保として発行される証券

## ○通貨別配分



## ○組入上位10銘柄

(組入銘柄数 : 1,152銘柄)

	銘柄	種別	通貨	比率
1	UK GOVT 4.75% 07 DEC 2030	国債	イギリス・ポンド	3.4%
2	US GOVT 3.625% 15 AUG 2043	国債	米ドル	2.0%
3	ITALIAN GOVT 1L BTPE1 2.35% 15 SEP 2019	国債	ユーロ	1.6%
4	EUROPEAN FINANCIAL STABILITY F 2% 15 MAY 2017 REGS	準国債	ユーロ	1.5%
5	JAPANESE GOVT 2Y #349 0.1% 15 FEB 2017	国債	日本円	1.3%
6	SPS SERVICER ADVA A 2015-T1 2.53% 30 JUN 2045 144A	ABS	米ドル	1.2%
7	US GOVT TIPS 0.125% 15 APR 2017	国債	米ドル	1.0%
8	MORGAN STANLEY 4% 23 JUL 2025	社債	米ドル	0.9%
9	ITALIAN GOVT BTP 2.5% 01 DEC 2024	国債	ユーロ	0.9%
10	US GOVT TIPS 0.375% 15 JUL 2023	国債	米ドル	0.9%

(注1) 上記の比率は全て組入れファンドの純資産総額に対する割合です。

(注2) 通貨別配分は、基本配分(米ドル100%)からの乖離を示しています。したがって、米ドルについては基本配分との合計が実際のポジションとなります。

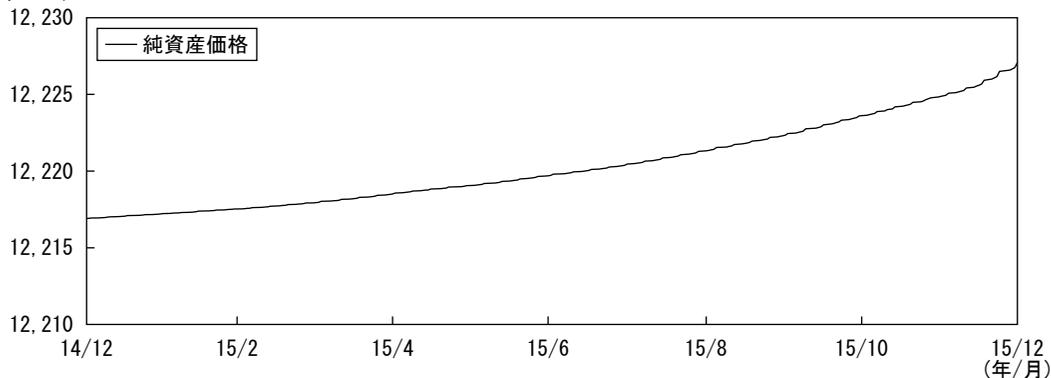
\*組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)でご覧いただけます。

## <ゴールドマン・サックスUS\$リキッド・リザーブズ・ファンド> (2015年12月31日現在)

\*組入れファンドの決算は、年1回(毎年12月末)です。したがって、本報告書作成時点で入手可能な2015年12月31日時点までの状況をご報告申し上げます。

### ○純資産価格等の推移について (2015年1月1日～2015年12月31日)

(米ドル)



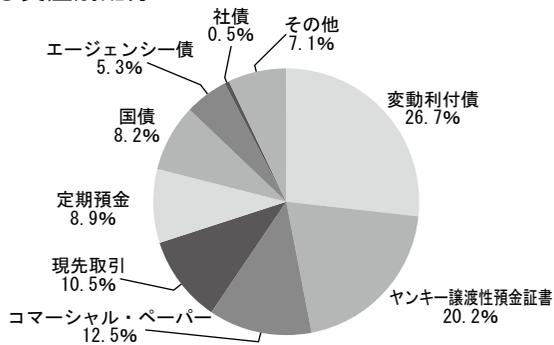
### ○費用明細 (単位：米ドル)

費用	
投資顧問報酬	53,143,623
管理会社報酬	3,035,574
管理事務代行報酬	1,148,008
保管費用	1,928,901
販売報酬	6,399,161
名義書換事務代行報酬	368,958
監査報酬	13,100
取締役報酬	10,933
弁護士報酬	50,734
保険費用	236,037
印刷費用	43,669
その他費用	398,101
費用合計	66,776,799
投資顧問／販売報酬および諸費用の調整額	(10,831,760)
運用費用合計	55,945,039

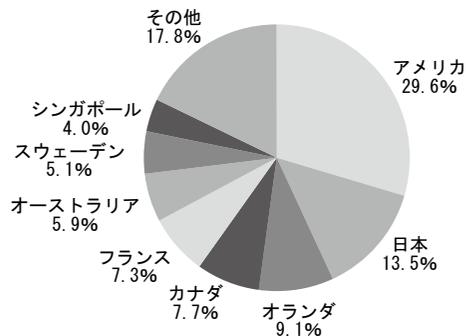
(注1) 費用明細は本報告書作成時点で入手可能な組入れファンドの2015年1月1日から2015年12月31日までのものです。

(注2) 費用明細は1万口当たりの情報の入手が困難であるため、当外国投資信託証券の全てのクラスにかかった金額を表示しております。

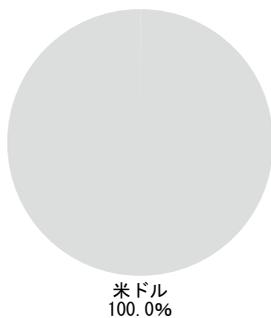
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



○組入上位10銘柄

(組入銘柄数：144銘柄)

	銘柄	種別	通貨	比率
1	ING Bank NV Repo (e)	現先取引	米ドル	3.7%
2	Societe Generale Repo (e)	現先取引	米ドル	3.4%
3	United States Treasury Floating Rate Note	国債	米ドル	3.3%
4	Nordea Bank	定期預金	米ドル	2.8%
5	The Norinchukin Bank	ヤンキー譲渡性預金証書	米ドル	2.6%
6	Federal Home Loan Banks	エージェンシー債	米ドル	2.6%
7	CitiBank NA	ヤンキー譲渡性預金証書	米ドル	2.0%
8	United Overseas Bank Ltd	定期預金	米ドル	2.0%
9	Bank of Montreal	変動利付債	米ドル	1.4%
10	Cooperatieve Centrale Raiffeisen-Boerenleenbank BA	変動利付債	米ドル	1.4%

(注) 上記の比率は全て組入れファンドの純資産総額に対する割合です。

\* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。